

表－１１ 債務負担行為に基づく令和３年度以降支出予定額 (単位：千円)

事 項 名	金 額
豊川用水二期事業（元利償還金負担金）	277,400
民間保育園等施設整備事業（元利償還金補助）	8,554
LED道路照明リース料	39,468
資源リサイクル用作業保管施設リース料	26,856
情報セキュリティ強化対策事業	13,502
救急資機材リース料	1,539
防犯灯LED化業務	88,792
衛生プラント・環境センター運転管理業務	208,560
土地開発公社事業資金による公共用地取得事業	215,708
包括施設管理業務	457,800
笠子・新居廃棄物処分場浸出水処理施設水質分析	74,371
環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託	19,431,204
学校給食業務	280,947
こども園給食業務	107,450
警備保障業務	948
老人福祉センター指定管理業務	29,955
ふれあい交流館指定管理業務	41,170
小松楼まちづくり交流館指定管理業務	14,565
複合運動施設指定管理業務	720,700
土地評価替支援業務	35,684
地図情報システム更新管理業務	12,056
胃がん内視鏡検診支援業務	5,648
横須賀橋郷北線（鷲津踏切）道路改良事業	95,000
ICT支援員派遣業務	31,548
車両・コンピュータシステム・事務機器等リース料	1,146,096
計	23,365,521

(3) 健全化判断比率

実質公債費比率は5.0で前年度と比べて0.3ポイント減少しました。将来負担比率は13.7で5.7ポイント減少しました。

いずれの指標も早期健全化基準を下回り、財政の健全性が保たれていることを示しています。

表－１２ 健全化判断比率の推移 (単位：%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	12.86	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	17.86	30.00
実質公債費比率	5.6	5.3	5.0	25.0	35.0
将来負担比率	20.1	19.4	13.7	350.0	

※「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」は収支が黒字のため「—」で表示している。

5. 引上げ分の地方消費税収に伴う市交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費の状況

(歳入) 市交付金（社会保障財源化分） 7.1億円
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 75.3億円

表－１３ 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	市債	その他	社会保障財源化分の市交付金	その他
社会福祉	4,603,479	2,536,209	0	122,094	420,802	1,524,374
社会保険	1,556,626	294,867	0	35,042	284,650	942,067
保健衛生	1,372,272	23,102	0	12,321	0	1,336,849
合 計	7,532,377	2,854,178	0	169,457	705,452	3,803,290